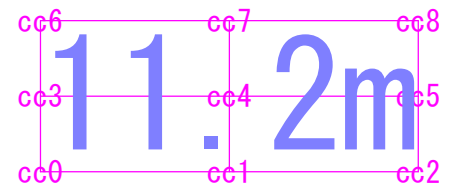


ps: 始点  
 pe: 終点 (端末文字の書込み側)  
 pm: 中点  
 $\vec{v}_s$ : 原点から始点に向かうベクトル  
 $\vec{v}_e$ : 始点から終点に向かうベクトル  
 $\vec{v}_m$ : 原点から中点に向かうベクトル  
 $\vec{v}_z$ : ずれの補正のためのベクトル  
 $\vec{v}_k$ : 原点から文字基点に向かうベクトルとすると

右上がりの線分のとき  
 文字の向きは  $\vec{v}_e$   
 $\vec{v}_k = \vec{v}_m + \vec{v}_z$

右下がりの線分のとき  
 文字の向きは  $-\vec{v}_e$   
 $\vec{v}_k = \vec{v}_m - \vec{v}_z$



### # 中央の文字入力

```

puts "lg#{/-1/=~gm ? lgc: gm}"
puts "ly#{/-1/=~lm ? lyc: lm}"
puts "cn#{mm<0 ? cnc : mm}"
puts "cc1"
if ve[0]>=0
  puts "ch "+(vm+vz).to_a.join(" ")+" "+
    ve.to_a.join(" ")+"'+st"
else
  puts "ch "+(vm-vz).to_a.join(" ")+" "+
    (ve*(-1)).to_a.join(" ")+"'+st"
end
  
```

グループレイヤの設定  
 レイヤの設定  
 文字種の設定  
 文字の基点を中下に設定  
 右上がりの線分のとき  
 文字書込み

右下がりの線分のとき  
 文字書込み